

## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その1

|  |                              |            |  |
|--|------------------------------|------------|--|
| 重点施策4  | 「まち」の強みを活かして川崎に育つ子どもに将来の夢を育む | プロジェクト実施体制 |  |
| <p>●重点施策の目指す方向（成果）</p> <p>・本市の地理的、歴史的、文化的特長など「まち」の強みを活かした教育を推進し、子どもたちに将来の夢を育む。</p>   |                              | メンバー       | 指導課長、総合教育センター担当室長、健康教育課長、生涯学習推進課長、教職員課長、学事課長 |
| <p>●実施方法</p> <p>・研究開発都市である本市の強みを活かし、技術者・研究者等による出前授業や、工場・研究施設の見学等を実施し、魅力ある理科教育を展開する。</p> <p>・体育系大学や地域スポーツ人材と連携や、音楽大学や音楽家等との交流を図る。</p> <p>・学校図書館コーディネーター等の活動や研修を充実させるなど、子どもの読書活動の充実を図る。</p> <p>・地域の人材や商店、企業等の協力を得ながらキャリア教育の充実を図り、子どもたちの勤労観、職業観を育成するとともに、将来の夢を育む。</p> |                              |            |  |

## プロジェクトによる総合評価

## ●重点施策の実施結果

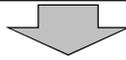
- ・市内企業などの出張授業や施設見学、理科支援員の全市立小学校配置、横浜国立大学と連携したC S T（中核理科教員）養成プログラムの実施（5名修了）やC S T養成プログラム修了者による教員研修の充実など、研究開発都市である本市の強みを活かした魅力ある理科教育を展開した。
- ・川崎サイエンスワールドに掲載された市内企業やK A S T（公益財団法人神奈川科学技術アカデミー）などの協力を得て、小・中学校において理科や総合的な学習の時間などで出張授業や施設見学を実施した。
- ・環境教育について、N P Oや大学の協力を得て、多摩川、生田緑地などにおいて観察会を実施するとともに、社会貢献活動に取り組む市内企業の出前授業や施設見学等の活用を推進するなど、取組の充実を図った。
- ・小学校体育授業への地域指導補助者派遣（75校、154名）や、中学校の部活動への外部指導者派遣（43校、95名）、中学校の武道の授業への体育系学部の大学生などの指導補助者派遣（柔道9校、剣道1校）などにより、児童生徒の体力づくりの充実を図った。また、児童生徒の体力向上の取組を推進するため、小・中学校においてトップアスリート等によるスポーツ教室や講習会等を開催した。
- ・地域に開かれた子どもの音楽活動、オーケストラ鑑賞、子どもの音楽の祭典の実施、ジュニア音楽リーダーの育成など、子どもたちに音楽のすばらしさや、音楽に触れる機会の充実や演奏技術の向上を図った。
- ・朝読書、読み聞かせ、ブックトーク、学校図書館コーディネーター（各区3名、計21名）の巡回訪問による学校図書館の環境整備や図書ボランティア研修会の企画運営等を実施するとともに、「かわさき子ども読書100選」を学校図書館における本の紹介や授業支援等に活用するなど、各校の読書活動を推進した。
- ・地域企業などと連携した職場体験、職業講話、出前授業及び福祉体験など、地域と連携しながら、子どもたちの社会性や望ましい職業観を育んだ。

## ●総合評価

- ・理科の授業の理解度（「わかる」「どちらかといえばわかる」と感じる児童生徒の割合）（「かわさき教育プラン」に例示されている指標の推移参照）が、小学校5年生では93.6%と、昨年度に比べて0.4ポイント低下したものの引き続き高い数値を示し、中学校2年生では昨年度より4ポイント上昇し72.9%となるなど、高い成果を得ることができた。また、観察・実験が好きな児童（「好きだ」「どちらかといえば好きだ」と感じる児童の割合）（出典：平成26年度川崎市立小・中学校学習状況調査報告書）が、小学校5年生では昨年度から0.4ポイント上昇し92.0%となり、理科支援員の配置事業などを通じた観察・実験の充実によって、関心・意欲を喚起する授業づくりを進めることができた。引き続き、わかる授業を目指した取組が必要である。
- ・児童生徒の体力向上に向けた取組を推進したが、新体力テストの全国平均を100とした時の本市の数値（体力合計点）（「かわさき教育プラン」に例示されている指標の推移参照）は、小学校5年生男子では昨年度から0.4ポイント低下し97.1、小学校5年生女子では昨年度から1.0ポイント低下し94.8となった。ほぼ同水準の成果が挙げられているが、全国平均との比較では、未だ下回っていることから、更なる取組が必要である。

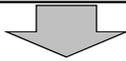
### ●課題・問題点

- ・本市の特色を活かした理科教育を推進するため、市内企業や研究者等の地域の教育的資源をさらに活用する手法について検討が必要である。
- ・環境教育について、環境局と連携しながら各校の取組を支援できる企業との連携をさらに図る必要がある。
- ・子どもたちの主体的な健康・体力づくりを支援するため、学校・地域・関係団体・行政の連携を強化しながら、子どもの体力向上に向けた取組を全市的に展開していく必要がある。
- ・学校図書館の活性化に向けて、常に人がいる環境づくりを進めるとともに、その効果の検証を行う必要がある。



### 川崎市教育改革推進会議における意見内容

- ・学校図書館の活性化に係る取組について、学校現場では高い教育的効果を実感している。
- ・子どもの体力向上のためには体育授業への外部指導者の派遣などの取組が効果的であり、授業の改善にもつながる。
- ・全体的に、地域人材を活用した良い取組である。教育活動の一層の充実に向けて、社会科見学等でも地域人材を活用してほしい。
- ・地域が主体となって、子どもを対象とした実験教室などを行うことで、学校では実施できない取組を地域が担うことができる。



### 課題への対応と今後の方向性

- ・学校図書館に常に人がいる環境づくりを進めるため、学校司書のモデル配置を行なうとともに、その成果や課題の検証を行って学校司書や総括学校司書の適正配置を進めるなど、学校図書館の充実を図る。
- ・「地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業」の実施やモデル校における効果の検証などを行い、子どもの体力向上に向けた取組を推進する。
- ・地域住民のボランティア参加等をコーディネートする「区・学校支援センター」により、地域人材を活用した学校と地域社会の活性化を目指した取組を推進する。
- ・理科教育や環境教育を推進するため、市内企業の協力を得た出前授業や施設見学などの充実を図る。

●展開する事業の進捗状況（事業目標）

| 事業名  | ①魅力ある理科教育の推進  | 所管部署   | 指導課・カリキュラムセンター  |
|--|---|--|---|
| 事業の概要                                      | 技術者・研究者等による出前授業や、工場・研究施設の見学、「川崎サイエンスワールド」(神奈川県科学技術アカデミーと共同して作成した、本市が世界に誇れる先端的な科学技術を題材とした川崎市先端科学技術副読本)の活用等、研究開発都市である強みを活かした教育を推進します。 |  |   |
|  | これまでの取組と現状  | 平成26年度事業目標   | 平成26年度進捗状況  |
| 1  | 技術者・研究者等による出前授業や工場・研究施設見学、先端科学技術副読本の活用などによる理科教育の充実  | 技術者・研究者等による出前授業や工場・研究施設見学、先端科学技術副読本の活用などによる理科教育の充実 | ●川崎サイエンスワールドに掲載された市内企業やKASTなどの協力を得て、小・中学校の理科、総合的な学習の時間などにおいて出張授業や施設見学を実施した。また、川崎サイエンスワールド第4版を市内中学校1年生全員に配布し、冊子の授業への活用を推進した。 |
| 2  | 全校の小学校5・6年生の理科授業に理科支援員を配置   | 全校の小学校5・6年生の理科授業に理科支援員を配置                          | ●市立小学校の全校に理科支援員を配置し、理科の授業における観察・実験の充実を図った。  |
| 3  | 横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムの実施  | 横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムの実施                   | ●現職教員CSTプログラムへの中学校教諭の参加を開始した。また、小学校教諭5名、中学校教諭1名が修了した。   |
| 4  | CSTプログラムを修了した教員による理科研修の充実   | CSTプログラムを修了した教員による理科研修の充実                          | ●CST修了者による教員研修の充実に取り組んだ。  |
| 5  | 大学院副専攻CST修了者の教員採用募集   | 大学院副専攻CST修了者の教員採用募集                                | ●大学院副専攻CST修了者の教員採用募集を行い、中学校で1名を採用した。  |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性                          |   |  |   |
| ●地域企業との連携や現職教員CSTプログラムなどによる理科教育の充実を引き続き図る。 |   |  |   |

| 事業名  | ②環境教育の推進  | 所管部署                                   | カリキュラムセンター                                      |
|--|---|--|---|
| 事業の概要                                      | 生物の多様性や持続可能な社会の構築を実現していくための態度や能力を育成するために、多摩川や雑木林、河口域の公園などの川崎の自然環境及び社会貢献活動を推進する企業の力を活かして、環境教育の推進を図ります。 |  |   |
|  | これまでの取組と現状  | 平成26年度事業目標                             | 平成26年度進捗状況                                      |
| 1  | 教育課程への環境教育の位置づけの推進  | NPO、大学と連携した環境教育の充実                     | ●NPOや大学、科学館の協力を得て、多摩川、生田緑地などにおいて観察会を実施した。       |
| 2  |   | 環境に配慮した科学技術や川崎の自然から学ぶ環境教育の充実           | ●小・中学校における環境学習として多摩川河川敷の美化活動や雑木林の下草刈りなどの活動を行った。 |
| 3  |   | 環境の保全に取り組んでいる市内企業の出前授業や施設見学等による環境教育の充実 | ●環境の保全に取り組んでいる市内企業の出張授業や施設見学等を行った。              |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性                          |   |  |   |
| ●理科や総合的な学習の時間などにおける環境学習を引き続き行い、環境教育の推進を図る。 |   |  |   |

| 事業名  | ③スポーツ教育の推進(重点施策3-②)  | 所管部署               | 健康教育課   |
|--|--|--------------------|---|
| 事業の概要  | 体育系大学や地域スポーツ人材と連携して、子どもたちが運動の楽しさを味わうことのできる授業づくりや運動をする動機づけ等を行い、子どもたちの主体的な健康づくりや基礎体力づくりを支援します。 |                    |   |
|  | これまでの取組と現状   | 平成26年度事業目標         | 平成26年度進捗状況  |
| 1  | 小学校体育授業への指導補助者の派遣  | 小学校体育授業への指導補助者の派遣  | ●75校の小学校に154名の指導補助者を派遣した。   |
| 2  | 中学校運動部活動への外部指導者の派遣   | 中学校運動部活動への外部指導者の派遣 | ●43校の中学校に部活動の外部指導者を95名派遣した。   |
| 3  | 中学校武道授業への指導補助者の派遣  | 中学校武道授業への指導補助者の派遣  | ●中学校の武道の授業(柔道9校、剣道1校)へ体育系学部の大学生などを指導補助者として派遣した。                                       |
| 4  |  | 児童生徒の体力向上の取組の推進    | ●小学校の体育授業に地域のスポーツ指導者の派遣や休み時間を利用したキラキラタイムの充実、小・中学校でトップアスリート等によるスポーツ教室や講習会の開催等の取組を実施した。 |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性  |  |                    |   |
| ●子どもの主体的な健康・体力づくりを支援するため、大学や総合型スポーツクラブ等で組織したコンソーシアムを設置し、体力向上推進モデル校を選定するとともに、各学校に実態に応じて、スポーツ指導者の派遣やスポーツ教室等の開催、活動量の調査などの取組を実施する。また、モデル校での取組成果を紹介し、全市的な取り組みにつなげる。 |  |                    |   |

## 重点施策4

| 事業名  | ④子どもの音楽活動の推進  | 所管部署                               | 指導課・市民・こども局                                     |
|--|---|------------------------------------|---|
| 事業の概要                                      | ミュージア川崎シンフォニーホールや音楽大学、地域の音楽家等、市内の貴重な音楽教育資源を活用し、子どもの音楽の祭典やオーケストラ鑑賞等を実施することを通して、子どもたちの豊かな感性と生涯を通じて音楽を愛好する心情を育みます。 |                                    |   |
|  | これまでの取組と現状  | 平成26年度事業目標                         | 平成26年度進捗状況                                      |
| 1  | 開かれた子どもの音楽活動、オーケストラ鑑賞、子どもの音楽の祭典を実施  | 開かれた子どもの音楽活動、オーケストラ鑑賞、子どもの音楽の祭典の充実 | ●3事業を実施し、子どもたちに音楽のすばらしさや、音楽に触れる機会の充実を図った。       |
| 2  | 市内音楽大学と連携したジュニア音楽リーダーの育成  | 市内音楽大学と連携したジュニア音楽リーダーの育成           | ●音楽大学との連携により、ジュニア音楽リーダーの育成を20校で実施し、演奏技術の向上を図った。 |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性                          |   |                                    |   |
| ●4事業を実施し、児童生徒が音楽に対する豊かな感性や音楽を愛好する心情を育てていく。 |   |                                    |   |

| 事業名   | ⑤読書のまち・かわさき関連事業の推進<br>(重点施策6-④)  | 所管部署   | 生涯学習推進課・指導課   |
|---|--|--|---|
| 事業の概要   | 子どもから大人までが読書に親しめるよう、学校、家庭、地域でのさまざまな読書活動に取り組むことができる読書環境の整備を進めます。学校での朝読書・読み聞かせ等の取組の充実や学校図書館コーディネーター等の活用により学校図書館の活性化を図ります。<br>市立図書館では、学校図書館や大学図書館等との連携を進めるとともに、さまざまな施設等で再活用図書の利用を推進します。さらに、学校図書館を活用した地域への図書の貸出事業についても市立図書館と連携し、全市的な視点をもった、地域における読書活動の支援に取り組めます。 |  |   |
|   | これまでの取組と現状   | 平成26年度事業目標                                   | 平成26年度進捗状況  |
| 1   | 朝読書・読み聞かせ・ブックトークの実施  | 朝読書・読み聞かせ・ブックトークの継続実施                        | ●各校の読書活動の啓発を推進し、朝読書・読み聞かせ・ブックトーク等の実施校の拡充を図った。                               |
| 2   | 学校図書館コーディネーター各区3名の配置   | 学校図書館コーディネーター各区3名の配置                         | ●学校図書館コーディネーターを各区3名、計21名配置し、子どもの読書活動の推進や学校図書館の環境整備、図書ボランティア研修会の企画運営を行った。    |
| 3   |  | 学校図書館の充実に向け、学校図書館コーディネーター及び学校図書館ボランティアのあり方検討 | ●常に学校図書館に人がいる環境づくりを図るため、学校司書配置について検討を行った。                                   |
| 4   | かわさき子ども読書100選の発行   | かわさき子ども読書100選などを活用した、さらなる学校図書館の充実            | ●かわさき子ども読書100選などを学校図書館における本の紹介や授業支援等に活用し、読書活動を推進した。                         |
| 5   | 公立図書館と大学図書館等との連携拡大   | 公立図書館と大学図書館等との連携継続                           | ●利用協定・覚書を取り交わしている、専修大学、明治大学、和光大学、日本映画大学、日本女子大学と、相互利用や資料の相互貸借を行うなど連携を図った。    |
| 6   | 学校図書館を活用した地域への図書貸出事業の推進  | 学校図書館を活用した地域への図書貸出事業による市民の読書活動支援の継続          | ●貸出し実施校における事業推進を図るとともに、学校図書館有効活用事業のあり方について検討を進めた。                           |
| 7   | 各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供  | 各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供                      | ●家庭や地域、学校が連携した読書活動の推進をめざし、図書ボランティアの拡充や読み聞かせボランティアの育成、年齢に応じたブックリストの作成を行っていく。 |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性   |  |  |   |
| ●家庭や地域、学校が連携した読書活動の推進をめざし、図書ボランティアの拡充や読み聞かせボランティアの育成、年齢に応じたブックリストの作成を行っていく。 |  |  |   |

| 事業名  | ⑥学校裁量権の確保(重点施策2-⑭)  | 所管部署           | 教職員課・学事課・指導課   |
|--|---|----------------|--|
| 事業の概要  | 校長がリーダーシップを発揮して、地域に根ざした魅力ある学校づくりを進めるため、各校の特色や学校経営計画に沿った教員を、学校相互で公募する制度を実施するとともに、各学校の予算を一定のルールの下に学校で決めることができるようにするなど、人事や予算等における学校の裁量権を確保します。 |                |  |
|  | これまでの取組と現状  | 平成26年度事業目標     | 平成26年度進捗状況   |
| 1  | 教員公募制の実施  | 教員公募制の推進       | ●小学校3校、中学校6校、特別支援学校1校で各校1名を応募者の中から配置した。  |
| 2  | 学校裁量による予算配当の実施  | 学校裁量による予算配当の推進 | ●予算調整を2回実施し、第1回目の予算調整では、小・中学校及び高校(全日制・定時制)の合計で134校、第2回目では、140校から調整希望があり、予算調整を実施した。 |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性  |   |                |  |
| ●教員公募制は、継続実施することにより、一層の利用促進を図る。<br>●予算調整後の学校運営費予算が、各学校で有効に執行されているか、引き続き年間を通して検証する。 |   |                |  |

## 重点施策4

|  |   |                     |   |
|--|---|---------------------|---|
| 事業名  | ⑦商店街や企業等との連携による職場体験活動の推進  | 所管部署                | 指導課・カリキュラムセンター                            |
| 事業の概要  | 家庭・地域社会(地元の商店街や企業等)との連携による社会体験や職場体験活動を推進し、また、商品や技能を活用した出前講座などを実施することを通して、子どもたちに社会性や望ましい職業観、勤労観を育んでいきます。 |                     |   |
|  | これまでの取組と現状  | 平成26年度事業目標          | 平成26年度進捗状況                                |
| 1  | 企業・地元商店等における職場体験の実施   | 企業・地元商店等における職場体験の充実 | ●地域企業、地元商店などと連携しながら中学校(51校)における職場体験を実施した。 |
| 2  | 企業等による出前講座の実施   | 企業等による出前講座の推進       | ●地域企業などと連携しながら、職業講話、出前授業及び福祉体験等を実施した。     |
| 進捗状況を踏まえての次年度の方向性  |   |                     |   |
| ●中学校全校における職場体験の実施の継続、並びに研修会等を通じて情報交換し地域や保護者などと積極的な連携を図る。 |   |                     |   |

## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その2

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 重点施策4 | 「まち」の強みを活かして川崎に育つ子どもに将来の夢を育む |
|-------|------------------------------|

## ●「かわさき教育プラン」に例示されている指標の推移

| 指標名           | 理科の授業の理解度                                    |        |        | 数値の出典  | 学習状況調査                             |
|---------------|--|--------|--------|--------|------------------------------------|
| 指標の定義・指標式(単位) | 「わかる」「どちらかといえばわかる」と感じる生徒の割合                  |        |        |        |                                    |
| 年度            | 平成23年度                                       | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |                                    |
| 指標名           | (小5)   |        |        |        |                                    |
| 目標値           | 92%以上  | 92%以上  | 92%以上  | 94%    |                                    |
| 実績値           | 92.6%  | 92.6%  | 94%    | 93.6%  |                                    |
| 指標名           | (中2)   |        |        |        |                                    |
| 目標値           | 66%  | 67%    | 68%    | 69%    |                                    |
| 実績値           | 66.2%  | 66.4%  | 68.9%  | 72.9%  |                                    |
| 指標名           | 新体力テストの全国平均を100とした時の本市の数値<br>体力合計点(小学校5年生男子) |        |        | 数値の出典  | 児童生徒新体力テスト<br>全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書 |
| 指標の定義・指標式(単位) | 新体力テストの全国平均を100とした時の本市の数値<br>体力合計点(小学校5年生男子) |        |        |        |                                    |
| 年度            | 平成23年度                                       | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |                                    |
| 目標値           | 95.6   | 95.8   | 96.0   | 97.5以上 |                                    |
| 実績値           | 震災の影響で実施せず                                   | 95.4   | 97.5   | 97.1   |                                    |
| 指標名           | 新体力テストの全国平均を100とした時の本市の数値<br>体力合計点(小学校5年生女子) |        |        | 数値の出典  | 児童生徒新体力テスト<br>全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書 |
| 指標の定義・指標式(単位) | 新体力テストの全国平均を100とした時の本市の数値<br>体力合計点(小学校5年生女子) |        |        |        |                                    |
| 年度            | 平成23年度                                       | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |                                    |
| 目標値           | 92.2   | 92.4   | 92.6   | 95.8以上 |                                    |
| 実績値           | 震災の影響で実施せず                                   | 93.9   | 95.8   | 94.8   |                                    |
| 指標名           | 勉強が大切だと思う児童生徒の割合                             |        |        | 数値の出典  | 学習状況調査                             |
| 指標の定義・指標式(単位) | 「勉強することは、大切なことだと思う」と回答した児童生徒の割合              |        |        |        |                                    |
| 年度            | 平成23年度                                       | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |                                    |
| 指標名           | (小5)   |        |        |        |                                    |
| 目標値           | 97%以上  | 97%以上  | 97%以上  | 98%    |                                    |
| 実績値           | 97.6%  | 97.4%  | 97.6%  | 98.1%  |                                    |
| 指標名           | (中2)   |        |        |        |                                    |
| 目標値           | 94%以上  | 94%以上  | 94%以上  | 96%    |                                    |
| 実績値           | 94.2%  | 95.5%  | 95.2%  | 96.0%  |                                    |